



● 草の根パートナー型

平成20年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	中華人民共和国
2. 事業名	江西省高齢者介護教員養成事業
3. 事業の背景と必要性	65歳以上の高齢化率が8.4%を占める江西省において、高齢者介護は喫緊の課題である。高齢者福祉対策は制度・施設・人材育成などが重要課題となるが、制度や施設と並行して取り組まなければならないのが人材育成である。超高齢化社会に突入した日本が、これまでの経験を活かし、高齢者対策を模索している中国に知識・技術・概念を提供し、中国の高齢者福祉に寄与するものとする。上海市での介護教員養成システムを基に、江西省の強い要請も受け、江西省を内陸部モデルとして、江西省紅十字会と旭川荘の共同作業で、江西省の実情に即した介護の専門職を養成する。
4. 事業の目的	高齢者介護の専門職を養成し、専門職養成システムの基礎を築くことにより、高齢者介護の質の向上、ひいては中国の高齢者福祉の向上に貢献する。
5. 対象地域	江西省
6. 受益者層	高齢者介護教員および高齢者介護従事者（最終受益者は高齢者）
7. 活動及び期待される成果	<p>【成果1】 介護教員が養成される。</p> <p>1-1：江西省紅十字会が介護教員養成人材を選出する。 1-2：江西省で介護教員養成にむけた高齢者介護基礎講座を実施する(受講者は20名/年+その他聴講者100名程度)。 1-3：旭川荘で介護教員養成にむけた高齢者介護専門講座を実施する(受講者は20名/年)。</p> <p>【成果2】 介護従事者が養成される。</p> <p>2-1：養成された介護教員の専門性に従い担当科目の役割分担を行う。 2-2：養成された介護教員が高齢者介護従事者養成講座を実施する(受講者は80名/年)。【成果3】 養成された介護従事者が専門的な高齢者介護を実践する。 3-1：人間尊重に基づく専門的な高齢者介護に必要な介護環境の整備について助言指導を行う。 3-2：養成された高齢者介護従事者が各自の職場において専門的な高齢者介護を実施する。 3-3：養成された高齢者介護従事者が各自の職場において研修で学んだことを広める（伝達講習）。</p> <p>【成果4】 江西省での高齢者介護への取組みがモデル化され、中央政府に認知される。</p> <p>4-1：研修修了証書が半ば公的資格として養成された高齢者介護従事者の昇給等社会的地位向上につながるような仕組みを整備する。(社会的認知) 4-2：養成された介護教員等のプロジェクト関係者が江西省での高齢者介護の取り組みにつき学術論文等で発表する。(学術的認知) 4-3：中央政府・全国紅十字会へ働きかけ江西省への視察等、中央政府による認知を促進する取組みを実現する。(政治的認知) 4-4：江西省において継続した高齢者介護人材養成を行う体制の構築に向けた準備を行う（介護人材養成学校設立準備）。</p>
8. 実施期間	2009年7月～2012年3月（2年9ヵ月）
9. 事業費	50,000千円（予定）
10. 事業の実施体制	<p>実施機関</p> <p>：旭川荘 旭川荘厚生専門学院（介護福祉科・精神保健福祉科） 高齢者施設（特別養護老人ホーム・在宅介護支援センター 老人保健施設・グループホームなど）</p> <p>：江西省紅十字会</p> <p>サポート施設（中国側）</p> <p>：江西省人民対外友好協会 ：江西省南昌大学第一附属病院 ：江西省人民医院 ：上海市人民対外友好協会 ：旭川荘日中医療福祉研修センター</p>
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	社会福祉法人 旭川荘
2. 活動内容	心身障害者、乳幼児、高齢者関係施設、専門職員養成施設（介護福祉士、看護師、精神保健福祉士などを養成）研修・研究機関、社会自立や在宅支援の諸事業、病院などの82施設（2009年11月現在）を運営。